

高校 3 年生の皆さん、こんにちは。

第 4 回目の課題プリントです。内容的には武断政治から文治政治への転換ということになります。それまでの戦国の遺風の残った殺伐とした時代から学問による統治へと転換を図る幕府政治の営みを見ていきましょう。教科書の P198～P202 の 12 行目までを読んで、空欄を埋めてみてください。

第7章 幕藩体制の展開

1. 幕政の安定

[平和と秩序]

A. 4代将軍**徳川家綱** 在職 1651-1680

ア. 政権の補佐役—徳川家綱は、10歳で将軍に就任。

① [] —1641-82、1651年、大老に就任し、下馬将軍と呼ばれる。

②**保科正之**—1611-72、徳川家光の異母弟で保科正光の養子。家光の遺言で家綱の補佐役となる。

イ. 社会問題—牢人・[] の存在

①牢人—主家を離れて俸禄を失った武士のこと。

②かぶき者—異様な風体・行動をとる無頼の徒のこと。

ウ [] — 1651年、兵学者の [] が牢人の**丸橋忠弥**らと謀り江戸・大坂・駿府で一斉蜂起を計画するが失敗。

エ [] — 1652年、牢人 [] が増上寺での徳川秀忠夫人の27回忌法要に際し老中暗殺計画をたてるが失敗する。

オ. 政策の転換

① [] の禁緩和 — 1651年、後継者のいない大名が死にのぞんで養子をとることを幕府は、50歳までなら可とした。

一、跡目の儀、養子は存生の内言上すべし。末期に及びこれを申すと雖もこれを用ふるべからず。然りと雖も其父五十以下の輩は末期たりと雖もその品によりこれを立つべし。拾七歳以下の者養子を致すに於いては吟味の上許容用すべし。
(『御触書寛保集成』)

②寛文の武家諸法度 1663年

・殉死の禁止

殉死は古より不義無益の事なりと戒めおくといへども、仰せ出されこれなき故、近年、追腹のもの余多これあり。向後左様の存念これあるべき者には、常々其の主人より殉死仕らざる様に堅くこれを申し含むべし。若しこれ有るに於いては、亡主の不覚悟越度たるべし。以来跡目の息も抑留せしめずの儀、不届と思召る可き也。
(『徳川禁令考』)

・人質証人制の禁止

カ [] 発給 1664年

主従関係の再確認により将軍権威の確立を目的とする。

“寛文朱印改め”といわれる。

キ [] 1657年

江戸本郷の本妙寺が出火元となり、江戸市中55%が焼け、10万人を超える死者を出した。江戸城の天守閣も類焼したとされる。振袖火事ともいわれる。

B. 藩政改革 — 諸藩の動向として、人材登用の実施、治水工事の推進と新田開発、殖産興業などがあげられる。

ア. 会津藩 — 藩主**保科正之**。〔 〕を招いて朱子学を盛んにした。

イ. 岡山藩 — 藩主**池田光政**。〔 〕を招いて文教政策を実施する。**閑谷学校**・〔 〕を開校した。

ウ. 水戸藩 — 藩主**徳川光圀**。彰考館を設置して、『 』の編纂を開始する。

エ. 加賀藩 — 藩主**前田綱紀**。保科正之の後見を受けて藩政を固めた。〔 〕を招き学問の振興を図った。

[元禄時代]

A. 5代将軍**徳川綱吉** 在職 1680—1709

※政治区分について前半期は大老〔 〕が主導し、後半期には側用人として〔 〕が登用され、政治を担当する。

ア. 天和の武家諸法度 1683年

旧「弓馬の道……」

新「文武忠孝を励まし、礼儀を正すべきこと」

※忠孝・礼儀を重視する。

イ. **天文方**設置 1684年

〔 〕 (=安井算哲) は、京都の人、山崎闇斎から儒学を学び、岡野井玄哲から暦学を学ぶ。宣明暦(唐代のもの)の誤差の大きいことを指摘し、授時暦(元代のもの)に基づき、改暦を実施して〔 〕暦完成した。これ機に設置された編暦機関。

ウ〔 〕 1684年

父母親族が死んだ際の忌引きなどの日数を定める。公武二様あり。

エ〔 〕 1685年～

子息の死について占ったところ、前世に殺した犬の祟りと出た。そこで、動物保護法令を出すのが、年をおって極端化する。

オ〔 〕設置 1689年

〔 〕は、松永貞徳から俳諧を、飛鳥井雅章から歌学を学ぶ。そこから歌書・詩歌の研究機関として設置される。

著書『源氏物語湖月抄』『枕草子春曙抄』など。

カ〔 〕 1690年

林羅山が上野忍ヶ岡に設けた孔子廟と私塾を湯島に移動させ、〔 〕を大学頭として学問所とした。

キ〔 〕 鑄造 1695年

勘定所〔 〕の提案で実施した悪化改鑄政策。金の含有率の低い貨幣を鑄造することにより通貨量の増加(出目)を図った。しかし、彼は出目を着服したために幕府より追放される。

[金の含有率：慶長小判(86.3%)→元禄小判(56.4%)]

ケ. 朝廷対策

①禁裏御領の加増：1万石→3万石

②大嘗祭・賀茂葵祭の再興

コ〔 〕 1701年

赤穂藩主の**浅野長矩**が、私怨のために**吉良義央**を刺傷し改易となった。翌年、大石良雄らが吉良義央の首級をあげた。

〔正徳の政治〕

高3〔2学期No.2〕

- A. **徳川家宣** — 1662-1712、在職 1709-12。徳川綱吉の兄(綱重)の子。綱吉の後嗣となり、将軍となる。柳沢吉保を退け、新井白石を登用する。
- B. **徳川家継** — 1709-12、在職 1713-16。徳川家宣の第4子。側用人**間部詮房**の補佐の下、新井白石により政治改革をすすめる。
- C [] の登用
木下順庵の推薦で甲府時代の徳川家宣の侍講となる。家宣の将軍就任にともない江戸に入府し、幕政に参与する。正徳の治を具現する。
- ア [] 創設 1710 年
幕府と朝廷との経済格差が大きいことから幕府が資金を提供して新宮家を創設する。東山天皇の第8皇子 [] 親王が祖となる。
- イ. 朝鮮使節待遇問題 1711 年
朝鮮使節への接待に巨額の費用がかかっていた、これを削減して簡素化する。また、朝鮮国からの国書での宛名を「日本国大君」から「日本国王」に改めさせた。
- ウ [] 改鑄 1714 年
元禄小判により物価騰貴が起こった。これを改善するために品質を慶長小判に復帰させた。
- エ [] 1715 年
長崎貿易による金の海外流出をふせぐために貿易額・来航船に制限を加えた。
オランダ — 2隻 銀 [] 貫 清国 — 30隻 銀 [] 貫
- オ. 意 義 — 新井白石の改革は、儀式典礼に重点を置いたものであった。そのため幕府が直面する経済問題の解決には何ら効果的ではなかった。

世界史 B 課題

こんにちは。元気になっていますか。中国史の勉強は進みましたか？

今週の課題は、『時代と流れで覚える世界史 B 用語』の 50 ページ～57 ページのイスラーム世界の形成と発展の受験勉強を進めて下さい。非常事態宣言が解除され、授業が再開されたら、一気にペースを上げて授業を進めていきたいと思います。あと少し、頑張りましょう!!